

令和六年

松香 Komunikado

令和六年八月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

立秋を迎え朝夕は少し風も出て、暑さも和らいできたかと思いましたが、日中は暑い日が続いておりますので、ご自愛ください。水分補給の際は、1%弱の塩(天日平釜の塩がベスト)を入れて飲まれるとよいです。水だけ補給しますと血中の塩分濃度が下がって、かえって体がだるくなります。

只今は、月次祭を無事に斎行させて頂き誠に有難いことで御座います。

又ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々に、御礼申し上げます。

八月十一日発行

第三百十七号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

はじめに、地震関係のお話ですが、八月八日に宮崎県沖で震度六弱の地震があり、これを受けて南海トラフ地震臨時情報が出されました。念のために、最低一週間でいえば、三ヶ月分くらいのお米や水、トイレットペーパー、ポリ袋等準備された方がよいと思います。能登半島の地震でも、一週間ではまだ交通が遮断されて、支援物資は届かなかつたようです。今度は、かなりの範囲で被害を受けることが予想されますので、支援物資が届くことにはかなり日数がかかると想定して、準備されるのが大事と思います。そして何よりも日々の朝夕拝と月次祭をしつかりさせて頂くことが最も大切に御座います。

先日八月七日の瑞性大祭、並びに宣靈大祭、そして翌日の高熊山祭典に参拝させていただきました。大祭祭典後の教主様のごあいさつからです、

一、「神様を信じる力、**「信仰力」**と神様のみ教えを素直に踏み行う**「実践力」**は、いろいろな場面で試されているように思います。」とのお話が最初に御座いました。み教えと教主様のご教授を素直に受け止めて、実践させて頂くことが重要と思います。

二、「今年の神集祭最終日の八月十五日（旧暦七月十二日）はお盆、終戦記念日と重なりますが、これは偶然ではないと思います。出来るだけ多くの方が参拝されますように！」

参拝出来ない方も、お玉串を言付けるなどされることをお勧めします。お玉串で、参拝とみなして下さいと聞いています。山本は、参拝しますので言付かります。

三、「おおもとの歴史を振り返りますと、今から百年前の一九二四年大正十三年甲子の年、政治的にも軍事的にも不安定で治安が悪い中、聖師様は第一次おおもと弾圧事件の被告人としてご不自由な身でありながらも、アジアの精神的和合こそ世界平和の要であるという確信に基づき、世界経綸の第一歩として、モンゴルに向かわれました。アジアの経綸地であるモンゴルを宗教的道義的に統一し最終的にはエルサレムにまで足を延ばして、世界の諸宗教協力による人類の大和合

を目指すという、当時としては破天荒のことでございました。パインタラでの法難でいったんは幕を閉じたかに見えました。一九二五年五月北京での世界宗教連合会発会。更には人類万群愛善の理想と万教同根の理念を高く掲げた人類愛善会の創立へと、つながり今日に至るまでその精神は大切に継承され進展してまいりました。中東エルサレムへとご神業につながってまいりますことを心より願っております。」と御座いました。

聖師様が何もかもひな型を築いてくださり、それが現在拡大発展してきております。来年は、綾機平、綾の聖地エルサレムで世界平和の歌祭りが計画されております。こうした企画もすべて、みろくの世の架け橋になっていくものと思います。我々も、しつかり教主様に従って、みろくの世の住人とならせて頂くことが、大切とします。

以上、ごあいさつの中で私が特に感じた点を述べさせていただきます。

Koran dankon